20年前からスタイリッシュ!
次世代消防署の扉が茅ヶ崎に。

サザンオールスターズの歌詞にも登場する海の街、茅ヶ崎にある茅ヶ崎市消防署海岸出張所。
水難救助活動も務める海岸出張所は、海からクルマで約5分の所にある、海をイメージした消防署でした。

(株)サンミュージックプロダクション所属。タレント、ラジオパーソナリティ。防災士、上級救命講習修了の資格を持ち、防災や救命活動に関心が高く、自身の番組で特集を組んだり、関連イベントにも積極的に参加。

時東ぁみさん

2月号で取材した消防署の斬新な扉を、なんと20年前から採用しているという茅ヶ崎市消防署海岸出張所に行ってきました。

今回取材にご協力をいただいたのは・・・

茅ヶ崎市消防署
警備第二課
海岸出張所長
鈴木信賢さん

茅ヶ崎市
消防本部 消防総務課
副主査
末角優輝さん

茅ヶ崎市
消防本部 消防総務課
主任
中島大光さん

茅ヶ崎市の海岸出張所は、海の街をイメージしたオシャレな消防署

時東：さすが茅ヶ崎という感じで、とてもオシャレな外観ですね。いつ頃建てられたのですか?

鈴木：開所したのが平成12年11月ですから、もう20年以上も前になるんですよ。

末角：茅ヶ崎というと、湘南海岸のイメージがあると思います。ですから扉の青い枠は茅ヶ崎の海を、白いコンクリートの建物は砂浜を、そして2階の窓枠には木のサッシを使ってウッドデッキを表現しています。施設から湘南海岸を感じていただけるとうれしいです。

時東：今でもオシャレなイメージですが、当時はかなり斬新だったでしょうね。

塩害というハードな環境下でも、丈夫で高い耐久性を誇る折り戸

時東：ところで海といえば、こちらに来るときに乗ったタクシーの運転手さんが、茅ヶ崎という土地柄、、塩害でクルマの傷みが早いとおっしゃっていましたが。

中島：確かに塩害による消防車等の痛みは免れません。この折り戸については採用してから20年以上経過しており、市内でも塩害の受けやすい地域ですが、丈夫で耐久性が高いと思います。

時東：他の消防署を参考にするとか、この扉にするきっかけのようなものはありましたか?

鈴木：これまで消防署といえばオーバースライドドアが主流でしたが、消防署のような広い車庫のオーバースライドドアですと、どうしてもセンターに支柱を立てることになります。出動の際に、この支柱を取り外す作業が必要になる場合があり、出動までに時間がかかるのです。さらに開けるときにしっかりとオーバースライドドアを上げていないと、重量で降りてきてしまい、消防車にぶつけてしまう恐れもあります。

時東：なるほど、消火活動の基本は1秒でも早く火災現場に駆けつけること。スピーディな出動が大切ですよね。

鈴木：そこで当時の担当者が色々調べたところ、この折り戸の扉が飛行場の倉庫に使われていることを聞きつけ、それを実際に見に行き、長所を確認し、これは消防署の扉にいいということで採用したのだそうです。

時東：「先見の明」があったんですね。スピーディといえば、この折れ戸の開閉はとてもラクですね。

中島：はい、海岸出張所の折り戸は手動のみの開閉仕様ですが、こちらに勤務している女性職員でも軽々と開閉できるところがいいと思います。

緊急車両が見えるガラス扉で、市民の皆さんに安心感を提供!

時東：普段、車庫の扉を開けている消防署が多いようですが、こちらではどうですか?

末角：日中は訓練をしており、常に車庫等の状況を確認できるため、開放していることが多いです。ただし、全国的にみると消防の備品等の盗難事案が発生していると聞きますので、水難救助工作車側の車庫は基本的には閉めています。

時東：防犯に配慮すると、閉めていたほうがいいのですね。ところで水難救助工作車というと?

中島：海が近いので、水難救助に使う水上オートバイを車内に、救助ボートをルーフデッキに積載した緊急車両です。

鈴木：ここの職員は、消防隊が水難救助隊を兼務していて、潜水士、特殊小型船舶免許(水上オートバイ)、船舶免許(救命ボート)の国家資格を持っています。

時東：海の近くの出張所ならではの緊急車両と人員の配置ですね。この折れ戸はガラス面が大きいので、閉めていても明るく開放感がありますね。それに緊急車両が見えることで、市民の皆さんには安心感が生まれますね。

末角：通りすがりの親子が消防車や救急車を見て立ち止まることも多く、その際にはできる限り車両の紹介などをして、市民の皆さんにとって身近で距離感のない消防署を意識しています。

時東：消防施設の存在感によって、市民の皆さんが安心して暮らせる街となるよう、外観の工夫も重要なんですね。
今日はお忙しい中、ありがとうございました。

これまでの消防署のイメージを一新する、**超大型折り戸「しゅもん」**

- スタイリッシュな外観、採光性に優れた開放的なガラス扉。
- 横開きの大開口折れ戸なので故障が少なく、手動開閉時でも扉が落ちる心配がありません。
- 頻繁な開閉操作に対応した堅牢な駆動機構。(設計耐用開閉回数20万回以上)
- 電動によるスムーズな動作で、深夜の開閉にも安心の静粛性。
- 故障知らずでランニングコストに優れています。

■一般的なオーバースライドドアとの比較

	超大型折れ戸「しゅもん」	オーバースライドドア
基本動作	2組の折れ戸を横に開閉	スラットを屋内天井へ押し上げ引き下ろす
想定耐用回数	20万回／10年	1万回／10年
停電時・故障時	手動開閉可能	手動開閉可能
開閉スピード(電動時)	10秒程度	10秒程度
開閉音	30～40db程度	スラットとレールの摩擦音大
視認性	大きなガラス面	スラット間の窓により限定

お問合せは 菊川工業株式会社 KCT建材部
TEL:047-492-2014 FAX:047-492-6672 www.citytexture.com/lp-shumon/
(受付時間 9:00-17:00 [土・日・祝日除く])